



庄瀬中学校校長
橋本幸昭さん



白根北中学校
中村夏奈子さん



白根北中学校
五十嵐 肇さん



白井中学校
中村 徹さん



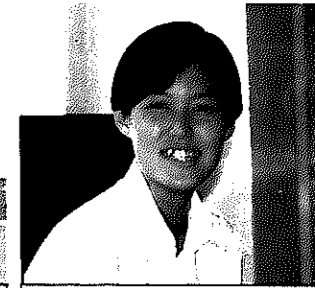
白根第一中学校
海津悠平さん



白根第一中学校
鈴木陽子さん



庄瀬中学校
金内聡美さん



新飯田中学校
小林佳子さん

子供たちが花束やプログラムを配っており、そういうことで平和の願いが受け継がれていく…(五十嵐)

えると思うと、うれしくなりました。

鈴木 平和を祈る人がこんなに多くいるのかと感動しました。その中の一人になれたことがうれしかったです。

平和な世界に向けて少しでも努力をしなければならぬと感じました。

海津 原水爆は日本だけの問題ではありません。数多くの国が核兵器を保有しているということなので、唯一の被爆国である日本に、多くの外国人が来て、当時の様子を知ってくださるのには良いことだと思います。

中村(徹) 式典に参加する前は、今が平和だとか、特に感じたことはありませんでした。しかし式典に参列して、改めて平和について考えさせられました。

五十嵐 式典中に遺族の献花がありました。自分も遺族の立場だつたらと思うと、胸が詰まりました。

会場へ行く途中、子供たちが花束やプログラムを配っていました。そういうことで平和の願いが長く受け継がれていくのだと思いました。

司会 記念公園ではあちこちで小さな集会が開かれていましたね。式典の後、慰霊碑に献花してお祈りをしました。何を祈ったのですか。

鈴木 被爆した人は、たまたま広島に原爆が落ちただけで、つら

い思いをしながら亡くなりました。その人たちに安らかに眠りくださいと祈りました。

海津 原爆の犠牲になった人たちのためにも、同じ過ちを繰り返してはならないということです。

小林 犠牲者のめい福を祈ったのはもちろんですが、広島市長も言ったように、核兵器が早くこの地球上からなくなつてほしいと祈りました。

中村(夏) 原爆は大きな過ちだったけれど、逆にそれがあつたからみんなが平和の大切さを願っている。今の平和は被爆者の犠牲の上に成り立っていると思うので、その感謝の気持ちを、そして慰霊碑に書かれていたことを誓いました。

金内 被爆者の思いを受け取って、二度とこういう過ちを繰り返さないということですね。

司会 昨年一年間で亡くなった被爆

原爆は大きな過ちだったけれど、逆にそれがあつたからみんなが平和の大切さを願っている…(中村夏)

もう一度行く機会があるなら、今度は遺族の話が聞ければ、もっと広島が理解できると思う…(海津)

中村(徹) 資料館には原爆症で抜けた頭髪が展示されていて、被爆者の苦しみや原爆の威力を感じました。

五十嵐 やはり資料館です。衣服の模様までが原爆の熱戦で肌に残り焼きたり、すさまじい写真ばかりで、気持ちが悪くなるくらいでした。

中村(夏) 資料館は八時間もかけて来たかと思ったら、混んでいたのも、もっとゆっくり見たかったです。そして平和公園には平和を訴えるたくさんの慰霊碑や像があつて、全部見れないくらいでした。

小林 資料館を見て、小さな子供までが、瞬時に命を奪われた悔しさを感じました。

金内 広島市の街がどういふ街か分かったのはうれしかったです。美術館には平和を訴えるポスターが展示されていて、それも印象に残りました。

司会 今回の研修の成果を友達などにどう伝えていくか、さらに皆さんができることは何でしょうか。

中村(徹) 話し、伝えることで分かってもらおうと思います。朝会で発表したり、写真も見てもらいます。

海津 生徒会広報があるので、そこに文を書いて全校生やその家族から読んでもらいたいと思います。

中村(夏) 図書室に戦争の本があり

皆さんは貴重な研修をしてきた。その体験を友達だけでなく、将来自分の子供にも伝えてほしい…(橋本)



者や、新たに死亡が確認された人は四千人だそうです。広島駅に着いたときは戦後四十八年が過ぎて、表面的には当時の惨状が感じられるものはほとんどありませんでした。皆さんが広島市を見て、過去と現在という面から何か感じた人は?

鈴木 広島は緑が多くて、美しい街でした。あの悲しみが、今の広島のパネになったんだと感じました。

五十嵐 四十八年たった今でも原爆ドームが残されているのは、地元の人など多くの人が平和の尊さを訴え続けているからだと思いました。

金内 原爆ドームには、平和への願いが込められていると感じました。

司会 特に印象深かったのは?

海津 資料館です。目を背けたくないようなものもありました。また、当時の写真を見て、広島市民の復興までの、すごい努力を感じました。

海津 事前研修をしっかりとやってから研修に臨んだ方が良かったです。僕にもう一度行く機会があるなら、今度は遺族の人の話が聞ければ、もっと広島が理解できると思います。

中村(徹) これから自分たちが平和を守っていくという気持ちを、持ち続けてほしいと思います。

司会 昔のことは、自分が知ろうとしなければ気付かないものです。今は平和ですが、世界各地で武力闘争が行われていることは、皆さんもご存じでしょう。戦争や核兵器、平和について考えることができる機会を、市が与えてくださったことに感謝して報告会を終わります。

